

数学 I・第1回

分析力強化コース

・正負の数の意味

STEP を選んでノートに学習しなさい。

学習日

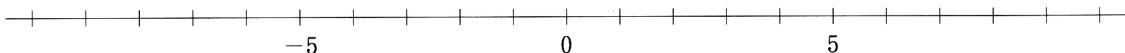
月 日

STEP1

- 1 次の数を、 +, -をつけて表しなさい。

- (1) 0より3大きい数 (2) 0より7小さい数 (3) 0より4小さい数 (4) 0より $\frac{1}{2}$ 大きい数

- 2 1の数字を、下の数直線上に表しなさい。



- 3 次の⑦～⑩の数の中で、整数を選び、記号で答えなさい。

- ⑦ 2 ⑧ -1 ⑨ 0.1 ⑩ -9 ⑪ 0 ⑫ $2\frac{1}{5}$ ⑬ -25

- 4 利益と損失のように、たがいに反対の性質をもつ量を、正の数、負の数を使って表すことがあります。例えば、100円の利益は+100円、100円の損失は-100円と表されます。次の(1)～(3)を正の数、負の数で表しなさい。

- (1) 10m高い、2m低い (2) 5個多い、3個少ない (3) 3000円の収入、2000円の支出

- 5 次の数の絶対値をいいなさい。

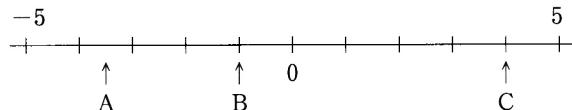
- (1) +6 (2) -1 (3) -92 (4) +0.5 (5) $-\frac{1}{4}$ (6) 0

STEP2

- 1 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次の①～③の数を、右の数直線上に表しなさい。

- ① +2 ② -3 ③ -0.5



- (2) 右の数直線上で、A, B, Cにあたる数を、符号を使って表しなさい。

- 2 次の⑦～⑩の数の中で、正の整数、負の整数を選び、記号で答えなさい。

- ⑦ 1.2 ⑧ +13 ⑨ -5 ⑩ $\frac{3}{2}$ ⑪ 0 ⑫ -0.3 ⑬ 4

- 3 正の数・負の数を使って、次のことを表しなさい。

- (1) 2000円の利益、5000円の損失 (2) 7日前、6日後 (3) 2点の失点、4点の得点

- 4 絶対値が次の数になるときのもとの数をいいなさい。

- (1) 8 (2) 0 (3) 17 (4) 0.12 (5) $\frac{3}{4}$

- 5 次の各組の数の大小を不等号を使って表しなさい。

- (1) +5, -6 (2) -7, -2 (3) 23, -350 (4) +0.001, 0

STEP3

1 次の⑦～⑩の数の中で、0より小さく、-5より大きい数を選び、記号で答えなさい。

⑦ -6 ⑧ +4 ⑨ -4.9 ⑩ $\frac{5}{2}$ ⑪ 0.01 ⑫ -5.2 ⑬ 0

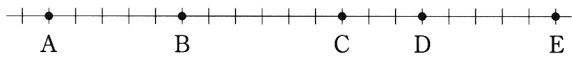
2 次のことからを、反対のことばを使って表しなさい。

- (1) -3% の値上げ (2) 今から10年前 (3) 平均点が-9点少ない (4) 気温が -2°C 上がる

3 右の数直線を見て、次の各問いに答えなさい。(1目もりを1とする。)

- (1) Cを0とおいたときの、A, B, D, Eにあたる数を求めなさい。

- (2) Bを-10とおいたときの、A, Dにあたる数を求めなさい。



A

B

C

D

E

4 次の数について、次の各問いに答えなさい。

$$-16, +14, -7, 0, -3.5, +8, +7$$

- (1) 小さい方から順に並べなさい。
(2) 絶対値が等しい数を答えなさい。
(3) 絶対値が4より大きく8より小さい数を答えなさい。
(4) 自然数であるものを答えなさい。

STEP4

1 次の数を大きい方から順に並べたとき、ちょうどまん中にくる数を答えなさい。

$$-\frac{2}{3}, 0.2, -0.07, \frac{1}{4}, -0.6, -1\frac{1}{2}, 0$$

2 数直線上の点-5から7までの間について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 自然数はいくつありますか。 (2) 絶対値が3より大きい整数はいくつありますか。
(3) ちょうど3等分する点にあたる数はそれぞれいくらになりますか。

3 絶対値が 3.75 より大きく $7\frac{1}{2}$ より小さい整数を、大きい方からすべてかきなさい。

4 2つの数P, Qがあります。Pの絶対値が6で、またPとQの絶対値の差が2であるとき、PとQはどんな数が考えられますか。すべて答えなさい。

5 数直線を使って、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) -5.5 からの距離が2.5である数を求めなさい。
(2) 0からの距離が、 $+2$ から -1 までの距離に等しい数を求めなさい。